



®環境省

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間

「2024年1月
～2024年12月」

認証・登録証

認証・登録番号 0013323

認証・登録事業者 株式会社エコ

岩手県北上市成田 26-83-10

事業活動 再生資源リサイクル業、一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業、紙製品販売業

対象事業所 本社

認証・登録日 2021年6月25日

更新・登録日 2023年6月25日

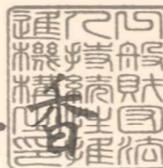
有効期限 2025年6月24日

上記事業者は「エコアクション21ガイドライン2017年版」(環境省)の
要求事項に適合していることを証します。

一般財団法人 持続性推進機構

理事長

森本英香



令和7年3月20日発行

株式会社エコ

【目次】

■ 組織の概要	1
■ 事業規模	
■ 収集運搬車両及び重機	2
■ 施設の概要	
■ 許可・登録内容	3
■ 古紙処理工程	4
■ 一般廃棄物処理工程	5
■ 環境経営方針	6
■ 環境経営推進体制・役割	7
■ 環境経営目標（令和6年度～令和8年度）	8
■ 環境経営計画（令和6年度～令和8年度）	9
■ 令和6年度環境経営目標及び実績	10
■ 令和6年度環境経営計画及び評価	11
■ 環境関連法規一覧及び遵守状況	12
■ 代表者による全体の評価と見直し	13

【組織の概要】

事業所名	株式会社エコ
代表者名	代表取締役 佐藤 直也
所在地	岩手県北上市成田 26 地割 83 番地 10
環境管理責任者	工場長
環境管理事務局	業務部長、総務担当
連絡先	TEL : 0197-68-4103 FAX : 0197-68-4169 E-mail : marusa-2@alpha.ocn.ne.jp
事業内容	再生資源卸売業 一般廃棄物処理業 産業廃棄物処理業 紙製品（コピー用紙、トイレロール等）販売
創業年月	昭和 10 年 1 月
法人設立年月	平成 8 年 7 月（商号変更：令和 4 年 8 月）
敷地面積	6,364m ²
建物面積	2,052m ²
従業員数	16 名（常勤役員 1 名 社員 11 名 パート 4 名）
認証・登録範囲	組織全体及び全事業活動

【事業規模】

資本金	3,000 千円	
売上高	205,563 千円	令和 6 年度
廃棄物総取扱量（含有価物）	6,240.065 t	令和 6 年度
一般廃棄物取扱量	6,232.208 t	令和 6 年度
（内 古紙取扱量）	5,868.583 t	令和 6 年度
（内 収集運搬量）	3,245.826 t	令和 6 年度
産業廃棄物取扱量	7.857 t	令和 6 年度
（内 収集運搬量）	7.857 t	令和 6 年度
古紙出荷量	5,809.590 t	令和 6 年度

※ 事業年度 1 月～12 月

※ 産業廃棄物処分実績なし

【収集運搬車両及び重機】

(R6.12.31 現在)

車 種	積載量・荷重	メーカー	台 数
塵 芥 車	2,000kg	いすゞ	1
	1,900kg	日 野	1
	1,750kg	いすゞ	2
	1,700kg	いすゞ	3
	1,500kg	いすゞ	1
バ ン	2,350kg	いすゞ	1
	1,000kg	トヨタ	2
	350kg	ダイハツ	1
キャブオーバ	3,000kg	いすゞ	1
車 両 合 計			13
フォークリフト	2,500kg	いすゞ	1
	3,000kg	トヨタ	1
クランプリフト	2,500kg	トヨタ	1
	4,000kg	トヨタ	1
ショベルローダー	2,500kg	いすゞ	1
ホイールローダー	960kg	コマツ	1
重 機 合 計			6

【施設の概要】

圧縮・梱包施設 1基	取扱廃棄物：紙くず 処理能力：104 t / 日
破 碎 施 設 1基	取扱廃棄物：紙くず 処理能力：4.8 t / 日
圧 縮 施 設 2基 ※ 1基は有価物(缶類)専用	取扱廃棄物：金属くず 廃プラスチック類
一般廃棄物保管施設	保管面積：275.4m ² 保管容量：648.8m ³
産業廃棄物保管施設	保管面積：43m ² 保管容量：67m ³
内 積替保管施設	保管面積：12m ² 保管容量：12m ³
トラックスケール 1台	秤 量：40 t

【許可・登録内容】

一般廃棄物（北上市）

許可の種類	収集運搬
許可番号	第 589 号
許可年月日	令和 6 年 7 月 1 日
有効年月日	令和 8 年 7 月 3 日

許可の種類	処 分
許可番号	第 590 号
許可年月日	令和 6 年 7 月 1 日
有効年月日	令和 8 年 7 月 3 日

産業廃棄物（岩手県）

許可の種類	収集運搬業
許可番号	第 00312047626 号
許可年月日	令和 4 年 4 月 24 日
有効年月日	令和 9 年 4 月 23 日
事業の範囲 (取扱う廃棄物)	燃え殻・汚泥・廃油・廃プラスチック類・紙くず・木くず・ゴムくず・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
積替・保管の範囲 (取扱う廃棄物)	廃プラスチック類・木くず・ゴムくず・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず

許可の種類	処 分 業
許可番号	第 00322047626 号
許可年月日	令和 4 年 4 月 23 日
有効年月日	令和 9 年 4 月 22 日
事業の範囲	中間処理（圧縮・梱包処理）
取扱う廃棄物	紙 く ず

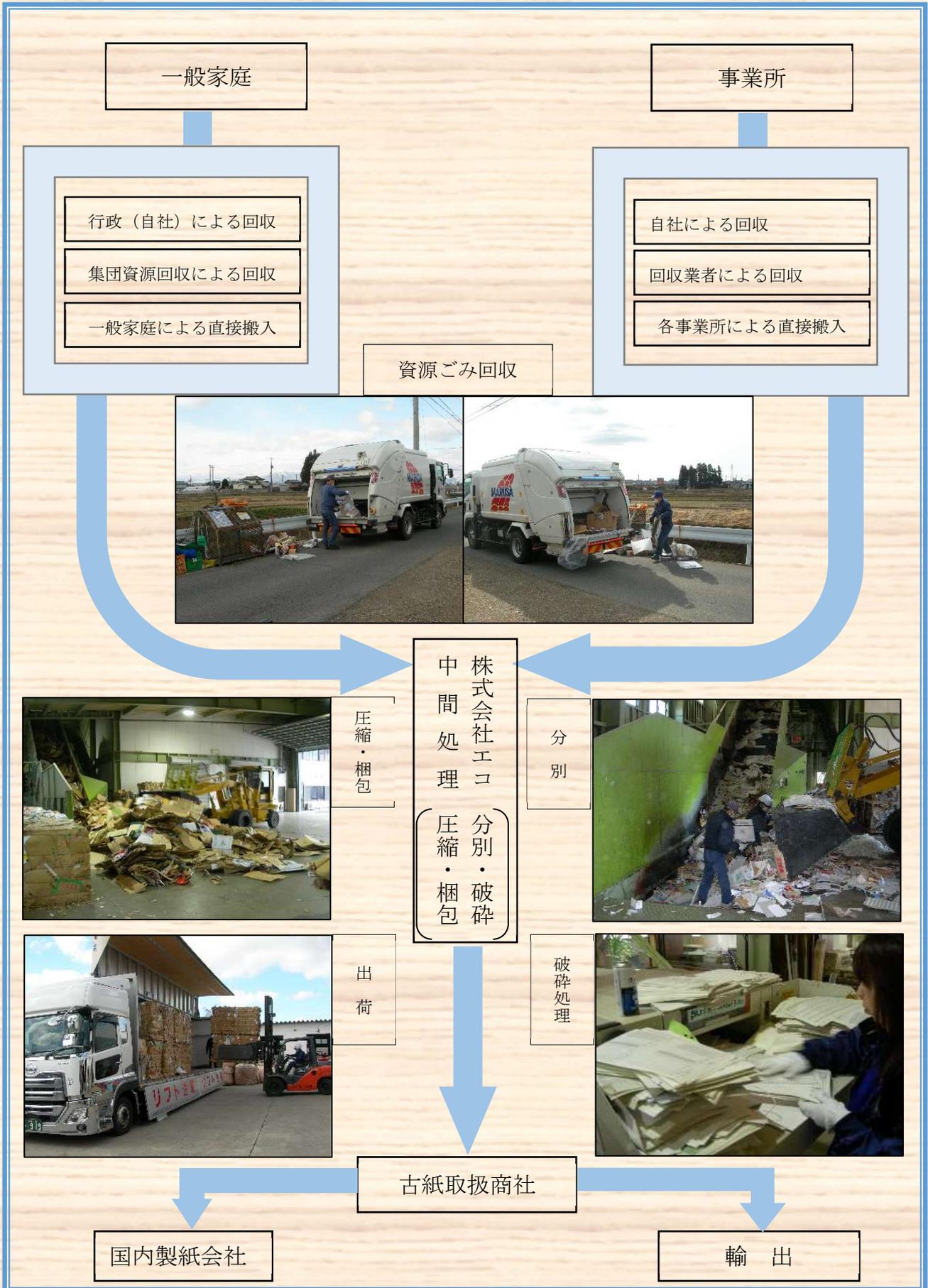
計量証明事業登録（岩手県）

事業の区分	質 量
登録番号	第 98 号
許可年月日	平成 12 年 5 月 15 日

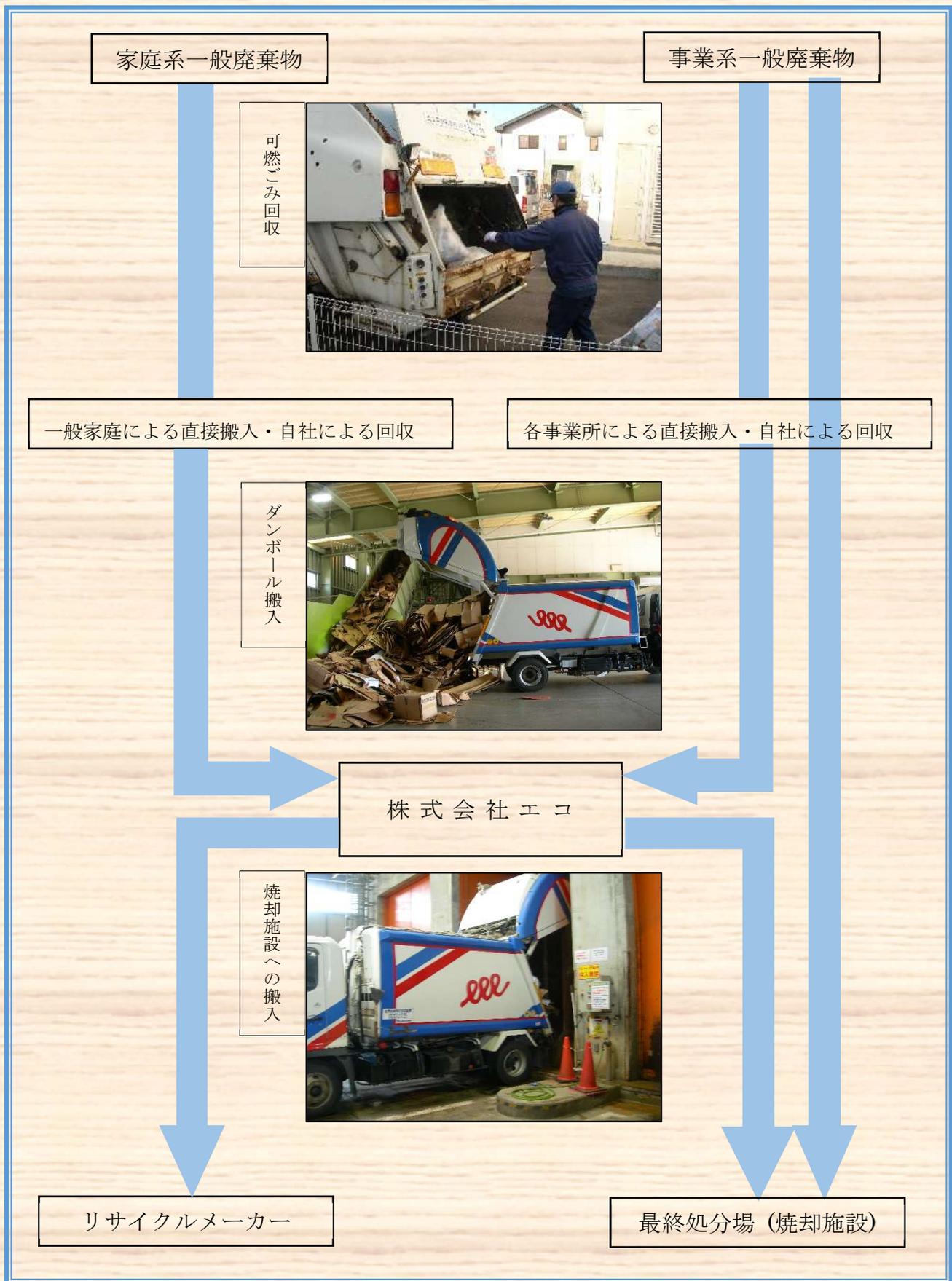
古物商（岩手県公安委員会）

許可番号	第 211050000657 号
許可年月日	平成 9 年 5 月 26 日

【古紙処理工程】



【一般廃棄物処理工程】



【環境経営方針】

■ 基本理念

古紙リサイクルと一般廃棄物処理を主力事業とする弊社は、北上市の古紙収集運搬業務受託事業所及び集団資源回収協力事業所として地域社会に信頼され、安心・安全なリサイクル事業に取り組み、資源循環型社会の形成に尽力してまいります。

■ 行動指針

弊社は基本理念を基に、以下のとおり行動指針を定め、事業活動と地域環境の調和、自然環境への配慮及び負荷低減を図り、環境経営システムの継続的改善を推進いたします。

1. 弊社の事業活動に関連する環境関連の法令・条例等を遵守し、環境経営活動の継続を図ります。
2. 事業活動における省資源・省エネルギー推進のため、電力、燃料及び水道の使用量の適正化及び削減に取り組みます。
3. 適時適切な業務改善により、無駄のない効率的な業務運営を心がけ、環境への負担軽減に努力し、働きやすい職場環境づくりを実施いたします。
4. 混在された各種類の古紙を、選別技術を生かし古紙の品質を高め、廃棄物の削減及びリサイクルを推進いたします。
5. 地域の方々との環境コミュニケーション及び地域貢献活動の継続的な実施に心掛けます。
6. この環境経営方針は全社員に周知し、地域環境の改善意識向上に努めるとともに、地域の方やお取引先等社外の方々にも公開いたします。

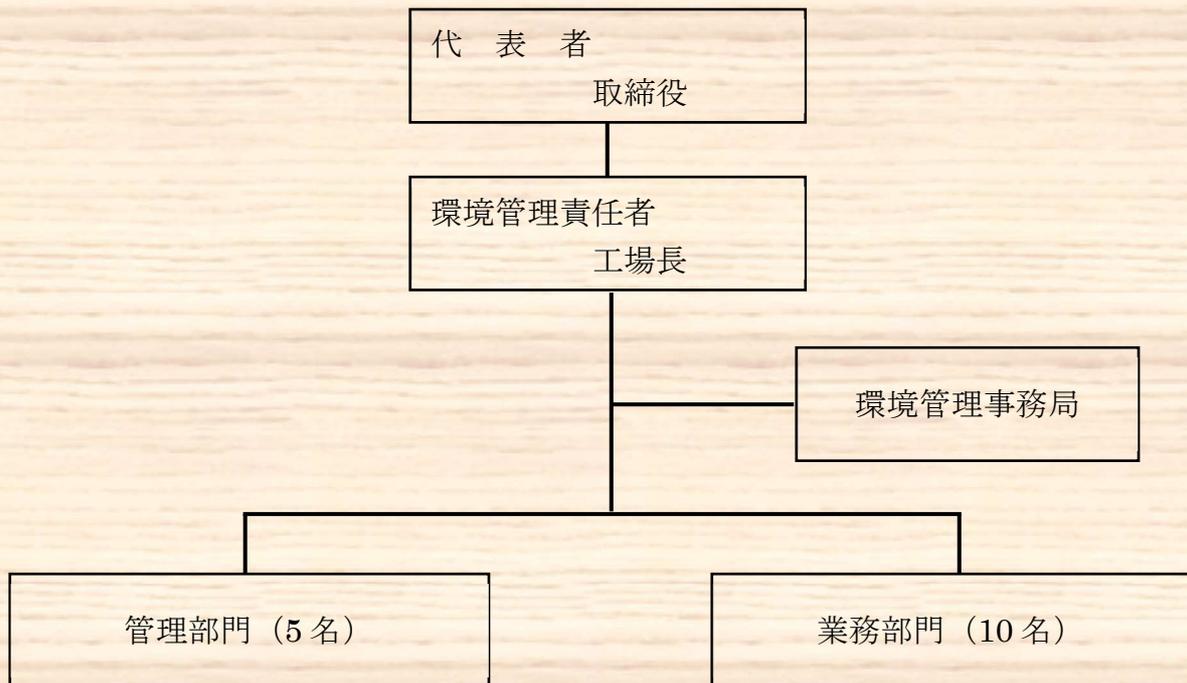
令和 2 年 10 月 1 日制定

令和 6 年 8 月 1 日改定(第 4 版)

株式会社エコ

取締役 高橋 美春

【環境経営計画推進体制・役割】



役職等	役割・権限等
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境経営に関する統括責任 ■ 経営上の課題とチャンスの整理及び明確化 ■ 環境経営方針の策定及び見直しの実施 ■ 効果的実施体制の構築 ■ 環境経営レポートの承認 ■ 環境経営実施の経営資源（要員・設備・資金）の準備 ■ 環境経営システム全体の評価及び見直し
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境経営システムの構築 ■ 環境経営システムの実施及び管理 ■ 環境経営活動の取組結果の代表者への報告 ■ 環境経営レポートの確認 ■ 環境経営目標及び環境経営計画の策定及び見直し
環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境管理責任者の補佐 ■ 環境経営計画の取組状況を取りまとめ ■ 環境経営活動の実績集計 ■ 環境経営レポートの作成及び文書管理 ■ 環境関連外部コミュニケーション対応窓口
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境活動への取組 ■ 環境活動への改善提案

【環境経営目標（令和6年～令和8年）】

項目		基準値 R4.11～R5.10	目標値 令和6年	目標値 令和7年	目標値 令和8年
電力	原単位 (kWh/入荷量:t)	14.948	14.948	14.948	14.948
	対基準値:%		100%	100%	100%
車両使用燃料 (軽油)	原単位(L/収運量:t)	12.057	12.057	12.057	12.057
	対基準値:%		100%	100%	100%
重機使用燃料 (軽油)	原単位(L/入荷量:t)	0.709	0.709	0.709	0.709
	対基準値:%		100%	100%	100%
水道	使用量(m ³)	660	660	660	660
	対基準値:%		100%	100%	100%
古紙商品化の 品質維持	出荷先より クレームゼロ	クレームゼロ	クレームゼロ	クレームゼロ	クレームゼロ
働きやすい 職場環境の創生	経営計画 100%遵守	100%遵守	100%遵守	100%遵守	100%遵守
廃棄物削減	排出産業廃棄物の 再資源化 100%	再資源化 100%	再資源化 100%	再資源化 100%	再資源化 100%
地域貢献活動 の推進	3回/年以上	3回/年	3回/年	3回/年	3回/年

化学物質の使用はなし

【環境経営計画（令和6年～令和8年）】

環境活動項目	活動計画	推進者
電力使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 圧縮梱包機・エアーコンプレッサーの不使用时電源 OFF の徹底 	副工場長
	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務所内照明・PC 等不使用时電源 OFF の確認 ● 事務所内室温管理徹底（夏期：28℃ 冬期：20℃） ● 電力使用量の見える化（数値化） 	事務局
燃料使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 社内会議におけるエコドライブの徹底 ● 計画的及び効率的な回収ルート of 推進及び重機の使用 ● 車両、重機の日常点検の実施・点検記録作成 	副工場長
	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両ごとの燃料使用量と走行距離の見える化（数値化） ● 重機の燃料使用量の見える化（数値化） 	事務局
水道使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 社内ミーティングにおける節水意識の高揚 ● 節水シールの貼付けによる注意喚起 ● 水道使用量の見える化（数値化） 	事務局
古紙商品化の品質維持	<ul style="list-style-type: none"> ● 取引先・一般のお客様への古紙分別周知 ● 圧縮梱包時における禁忌品除去徹底 	事務局 副工場長
働きやすい職場環境の創生	<ul style="list-style-type: none"> ● 3S の実施・確認 ● 定位置管理の徹底 ● 長期保管廃棄物の削減 	事務局 副工場長
廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 分別徹底による廃棄物の再資源化推進 ● 産業廃棄物処理委託定期視察実施 	事務局 副工場長
地域貢献活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 会社敷地隣接道路等のゴミ拾い等の清掃活動（毎週 1 回以上） ● 会社敷地隣接道路等の草刈り（春&秋各 1 回以上） ● 環境教育による小中高生、地域団体等の事業場見学受入（年 1 団体以上） 	事務局 副工場長

【令和6年度の環境経営目標及び実績】

運用期間：令和6年1月～12月

定量目標	目標値	前年実績値	実績値	対目標	評価
電力原単位 (使用量 kWh/入荷量 L)	14.948	14.927	15.088	100.93%	△
車両燃料(軽油)原単位 (使用量 L/収集運搬量 t)	12.057	12.117	12.096	100.33%	△
重機燃料(軽油)原単位 (使用量 L/入荷量 t)	0.709	0.685	0.631	88.98%	○
水道使用量 (m ³)	660.00	738.00	670.00	101.52%	△

定性目標	目標	実績	評価
古紙商品化品質維持	出荷先よりクレームゼロ	クレームゼロ	○
働きやすい職場環境創生	100%遵守	3S・定位置管理実施、長期保管廃棄物現状のまま	△
廃棄物削減	産業廃棄物再資源化 100%	100%実施	○
地域貢献活動推進	年3回以上	草刈2回 事業場見学受入1回	○

二酸化炭素排出量に関する項目	前年実績	R6 実績	対前年
電力使用量 (kWh)	98,242.00	94,148.00	95.83%
ガソリン使用量 (L)	1,541.73	1,305.02	84.65%
軽油使用量 (車両 : L)	3,975.27	3,680.86	92.59%
(重機 : L)	4,433.00	3,939.00	88.86%
灯油使用量 (L)	570.00	753.00	132.11%
LPG 使用量 (kg)	50.094	41.814	83.47%
二酸化炭素総排出量 (kg-CO ₂)	169,283.64	161,956.36	95.67%

※ [評価欄]

定量目標 ○：対目標値 100%以下 △：対目標値 110%未満 ×：対目標値 110%以上

定性目標 ○：実施 △：一部実施 ×：実施できなかった

※ 電力の二酸化炭素排出係数：0.483kg-CO₂/kWh (東北電力令和3年度実績)

【令和6年度環境経営計画の取組及び評価】

項目	取組内容	評価
電力使用量削減	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電力使用量の見える化（数値化） 2. 事務所内照明・PC等不使用時の電源off徹底 3. 圧縮梱包機・エアコンプレッサーの不使用時電源offの徹底 4. 事務所内室温管理の徹底（夏期：28℃ 冬期：20℃） 	概ね実施できている。
燃料使用量削減	<ol style="list-style-type: none"> 1. 燃料使用量の見える化（数値化） 2. エコドライブ・日常点検の実施 3. 計画的・効率的回収ルートの構築 4. 効率的な重機の使用 	概ね実施できている。
水道使用量削減	<ol style="list-style-type: none"> 1. 節水シールによる注意喚起 2. 水道使用量の見える化（数値化） 3. ミーティングにおける節水意識の高揚 	概ね実施できている
古紙商品化の品質維持	<ol style="list-style-type: none"> 1. 取引先・お客様への古紙分別周知 2. 圧縮梱包業務における禁忌品除去徹底 	概ね実施できている
働きやすい職場環境の創生	<ol style="list-style-type: none"> 1. 終業時の3S実施・確認 2. 定位置管理の徹底 3. 長期保管廃棄物の削減 	長期保管廃棄物は現状のまま 他は概ね実施できている
廃棄物削減	<ol style="list-style-type: none"> 1. 分別徹底による再資源化推進 2. 産業廃棄物処理委託先定期視察実施 	概ね実施できている
地域環境への配慮	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会社隣接道路ゴミ拾い等の清掃活動（毎週1回以上） 2. 会社隣接道路の草刈り（春&秋各1回以上） 3. 事業場見学の受入れ（年1団体以上） 	清掃活動は状況が許す限り通年にて実施 草刈りは春1回、秋1回実施 事業場見学受入は他県の同業者団体1団体のみ

【環境関連法規一覧及び遵守状況】

弊社に関連する環境関連法規は以下のとおりになります。

法令等の名称	該当する要求事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物処理業許可（収集運搬）	遵守
	一般廃棄物処理業許可（処分）	遵守
	一般廃棄物収集運搬記録保存	遵守
	一般廃棄物処理施設設置許可	遵守
	産業廃棄物収集運搬基準	遵守
	産業廃棄物保管基準・表示	遵守
	産業廃棄物処理委託基準	遵守
	産業廃棄物処理委託先の処理状況確認	遵守
	産業廃棄物管理票の交付	遵守
	産業廃棄物管理票交付状況報告	遵守
	産業廃棄物管理票保存	遵守
	産業廃棄物収集運搬業許可	遵守
	産業廃棄物処分業許可	遵守
	一般廃棄物収集運搬実績報告	遵守
	産業廃棄物収集運搬実績報告	遵守
産業廃棄物処分実績報告	遵守	
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	第1種特定製品の管理者の判断基準	遵守
特定家庭用機器再商品化法	事業者の責務 (指定引取場所への適切な引渡し)	遵守
岩手県循環型地域社会の形成に関する条例	産業廃棄物処理委託先の適正能力確認	遵守
北上地区消防組合火災予防条例	少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱届・表示	遵守

※ 環境関連法規への違反はなく、過去5年間行政等関係当局より指導・勧告・訴訟等は受けておりません。また、地域の皆様からの苦情・訴訟等もありません。

【代表者による全体の評価と見直し】

□□□ 目標の達成状況 □□□

今年度より、定量目標については使用量自体より業務取扱量に対する原単位を設定しております。極めて僅かのところで目標未達成の項目がありますが、ここ数年の原単位の悪化傾向を考慮すると概ね良好な結果ではないかと受け止めております。

また、業務取扱量の低下に比例しての二酸化炭素総排出量の減少は当然のことですが、環境経営的には安堵できる状況でした。

定性目標については、隣接道路の清掃や草刈は貢献活動として定着してきましたので、今後も継続していただきたいと思っております。

ガソリン等相対的に使用量が微小なものは数値目標を設定しておりませんが、日常的に使用量の管理等、怠ることなく実施してください。

□□□ 目標・計画の見直し □□□

新たな三ヶ年計画の中間期に当たりますが、当初の目標通り定量目標に関する基準値の維持を目指すことといたします。また、定性目標も見直しの必要性を感じられませんので、継続して取り組むことといたします。

□□□ 最 後 に □□□

永年的な営業継続にむけた新たな人材の獲得が思うように進んでおりませんが、当面は現状の人員・体制で日常の業務やエコアクションへ取り組み等最善を尽くしていただくことを期待しております。

古紙業界はますます厳しい状況が続きますが、従業員一人一人の取組と意識の継続が重要であり弊社の財産と考えますので、日々の業務改善を積み重ねていくことで道が開けるものと信じております。

令和 7 年 3 月 1 日
株式会社エコ
取締役 高橋 美春